



JPI催しのご案内

2024 6

公益社団法人日本包装技術協会

— 2024年度の本催しについて —

2024年度につきましても引き続きウェビナー（WEBセミナー）で
皆様に情報発信をさせていただきます。

●開催要領

日時 ①令和6年6月13日(木) 13:30～15:00 / ②令和6年6月26日(水) 13:00～14:00

参加費 JPI法人・個人会員：無料 / 一般：11,000円(1部会、税込) **定員** 300名

①令和6年6月13日(木) 13:30～15:00

JPI本部主催

【テーマ】 海外の紙・モノマテ包装ソリューション – シンテゴンテクノロジー – の技術を中心に –

紙・モノマテといった「サステナブル包装」は、グローバルレベルでの包装の新たな命題といえる。一方、コロナ下で、海外への渡航は憊ならない上、海外の情報が入りず、歯がゆい期間が続いた。2023年5月にドイツ・デュッセルドルフで、6年ぶりに開催されたinterpack2023は、包装業界にとっても、まさにコロナ明けを印象付けるイベントであった。

interpack2023では、シンテゴンは最新のテクノロジーとサステナブル包装の未来像を発信した。

当講の前半では、紙、モノマテといったサステナブル包材を横軸に、シンテゴンの最新技術を縦軸にして、interpack2023で展示したソリューションの掘り下げ。後半では、interpack2023のスピンのアウトとして、シンテゴンの社員が、ドイツの街を歩いて感じたサステナブル包装の景色を案内する。

【講師】 シンテゴンテクノロジー株式会社 食品営業部長
食品事業部 シニアマネージャー

岡本龍彦氏
高橋誠一郎氏

②令和6年6月26日(水) 13:00～14:00

JPI本部主催

【テーマ】 冬季におけるけい線の硬化を考慮したけい線折り曲げ強さの基準の作成

飲料や食品の工場、通信販売の倉庫などでは、段ボールを箱組みするオートケーサーが普及し、ケーサー適正も段ボールにおける品質要求として重要である。特にけい線折り曲げ強さは、使用するオートケーサーの仕様に合わせて設定する必要がある。

しかしながら、けい線折り曲げ強さは気温や湿度の影響を受けるため、夏季に問題が無かった製品でも、冬季になると気温の低下によるけい線の硬化により、ケーサートラブルが発生することがある。弊社釧路工場の位置する北海道では、冬になると氷点下を大きく下回ることが日常であり、気温の低下による影響を受けやすい。本講演では、温度や湿度がけい線折り曲げ強さに及ぼす影響と、冬季でもケーサートラブルが発生しないけい線折り曲げ強さの基準について紹介する。

【講師】 王子コンテナ株式会社 釧路工場 品質保証室

竹内漱汰氏

申込要領

- ◆お申込は当会ホームページより、先着順とさせていただきます。
- ◆お申込みが定員に達した場合、一社における参加人数に制限を持たせて頂く場合があります。
- ◆お申し込みは、JPIWEBフォーラム開催3日前までをお願いします。

個人情報の取扱いについて

- 1) 個人情報は「公益社団法人日本包装技術協会 JPIWEBフォーラム」の事業実施に関する資料等の作成、ならびに当会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。
- 2) 参加申込によりご提供頂いた個人情報は、法令に基づく場合等を除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。

参加申し込み方法と注意事項

- ・本催しはwebを使用したオンライン講演会（ウェビナー）です。
お申し込みは、当会ホームページのJPIWEBフォーラム参加申込ページよりお願い致します。申込者にはウェビナー開催の2日前頃に招待メールをお送りします。**メールアドレスの入力を間違えてしまうと登録できずメールを送付できません**のでご注意ください。
- ・招待メールにて **参加用URL、参加方法、参加までの手順、注意事項** をお知らせしますので、ご確認の上参加の準備を進めて下さい。
- ※ **ご利用のメールアドレスの環境・設定によっては迷惑メールに振り分けられる場合がございますので、ご注意下さい。**
- ・申込者1名のみ本催しに参加できます。1つのメールアドレスで1名しか参加できません。
- ・その他注意事項などにつきましては当会ホームページ上よりご確認の上、参加登録をお願い致します。

当会ホームページ URL : <https://www.jpi.or.jp/>

◆お問い合わせ及び各種催しの申し込み先◆

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
公益社団法人日本包装技術協会 担当：佐藤 TEL.03-3543-1189 FAX.03-3543-8970
●JPI催しのご案内はインターネットでも公開中です。 URL <https://www.jpi.or.jp/>

第62回

全日本包装技術 研究大会

発表者募集
富山大会

- 開催日：2024年11月21日(木)～22日(金)
- 会場：富山国際会議場
- 主催：公益社団法人日本包装技術協会

関係省庁団体に後援申請予定

ご案内

公益社団法人日本包装技術協会では毎年1回、全国の会員を対象に包装技術の研鑽と交流を目的とした全日本包装技術研究大会を開催し関係各位より高い評価を頂いております。

本大会は本年で62回目を迎え、会場を富山市の富山国際会議場に移し開催する予定です。

つきましては、包装に係わる様々な業種の皆様の発表の場として開催する本大会に貴社におかれましても、この機会を有効にご利用頂きたく、奮ってご発表くださいますようお願い申し上げます。

募集要領

- 【発表申込期間】 2024年8月16日(金)まで
- 【発表募集件数】 57件 ※最少催行件数45件/定員になり次第締め切り
- 【発表料】 無料
- 【申し込み方法】 本パンフレット裏面の発表申込書に必要事項をご記入の上FAX(03)3543-8970もしくはe-mail(satou@jpi.or.jp)にお送りください。 ※発表お申込み受領後に発表要旨原稿(A4用紙4枚程度)の執筆依頼をさせていただきます

発表要領

- 【発表部会】 発表内容により下記いずれかの部会で発表頂きます。
①包装資材部会 ②包装ラインシステム化部会 ③食品包装部会 ④生活者包装部会 ⑤医薬品・医療機器包装部会 ⑥化粧品包装部会
⑦輸送包装部会 ⑧電気機器包装部会 ⑨環境包装部会 ⑩パッケージデザイン部会
※発表部会はご希望にそえない場合があります。また事務局により発表頂く部会を変更させて頂く場合があります。
- 【発表内容】 自社のカタログを解説するような製品・サービスの紹介はご遠慮ください。
○包装又は包装資材に関する研究 ○新技術・新システム・新素材の開発 ○廃棄・リサイクルの容易性について
○包装の現場における改善・合理化の事例 ○省力・省人・省資源・コスト低減等の事例 ○設計・評価(試験)に関する方法や基準 など
- 【発表時間】 一件あたり25分間(20分発表、5分質疑応答)
- 【発表方法】 Microsoft PowerPointなどのプレゼンテーション用ソフトとPCを利用して1名で発表頂きます。
※PCは各自持参/操作も含め1名で発表頂きます
- 【表彰】 発表者の中から、特に充実した発表をされた方を対象に優秀発表者を選出します。
- 【評価ポイント】 ①発表内容のレベル(新規性、独創性、難度、工夫・応用具合など) ②発表内容の構成(例:背景・問題提起→解釈・分析・評価→提言)
③プレゼンテーション能力(論理的な説明、説得力、時間管理など)

お申込みご予定の皆様へ

- 感染症の流行によりマスクの着用や手指消毒など感染予防にご協力頂く場合があります。
- 感染症や天災等の発生、国や地方自治体による行動制限の発令、最少催行人数に達しないなど、それらが理由で急遽中止にする可能性があります。
- 発表募集締切後(2024年8月16日以降)は、発表者のご都合による辞退はお断りいたします。必ず代理の方を立ててください。なお状況によってはオンラインで発表頂く場合があります。
- お申し込みから発表までの流れは以下の通りです。
【発表申込受付】(8月中旬まで)→【予稿集用の原稿作成】(10月中旬まで)→【発表用データの作成】(当日まで)→【ご発表】(11月21日or22日)
その他詳細につきましては予稿集用原稿作成依頼時にご案内致します。
- 聴講用パンフレット(10月中旬完成予定)をご希望の方は下記事務局までご連絡ください。

資料請求・
お問い合わせ先



公益社団法人日本包装技術協会

全日本包装技術研究大会係 担当:佐藤

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F TEL 03(3543)1189 FAX 03(3543)8970 E-mail: satou@jpi.or.jp

詳細は弊会HPをご確認下さい